

江戸時代の源氏絵について

語り:

高橋 亨 名誉教授

『源氏物語絵屏風』
国文学研究資料館所蔵

江戸時代、ことに17世紀には『源氏物語』の絵画作品が多く作られた。絵巻としては、近年注目されている「幻の源氏物語絵巻」(盛安本)があり、土佐派や住吉派の画帖や、狩野派また岩佐又兵衛派の屏風絵などもある。

4月に、ニューヨークのメトロポリタン美術館で大規模な源氏物語絵画展があり、コロンビア大学と共催の国際シンポジウムもあって私も参加した。それらの体験報告とともに、架蔵の源氏絵も紹介する。

2019年8月8日(木) 午後6時～

名古屋大学中央図書館2階ディスカバリスクエア

参加無料
申込不要
会員以外の方
も歓迎します

名古屋大学附属図書館友の会

TEL 052-789-3684

FAX 052-789-3694

E-Mail tomo@nul.nagoya-u.ac.jp

URL <http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/tomo/>

(後援)

名古屋大学附属図書館
館, 同研究開発室